

# 資料 3

令和5年8月30日

## 草津市上下水道事業運営委員会 令和4年度決算概要 説明資料





## 目次

1. 水道事業会計の決算概要・・・・・・・・・・・・・・2
2. 第2次水道ビジョンの目標と  
令和4年度の実績・・・・・・・・12
3. 下水道事業会計の決算概要・・・・・・・・・・・・17
4. 下水道事業第9期経営計画の目標と  
令和4年度の実績・・・・・・・・27
5. 主な事業の内容・・・・・・・・・・・・・・30



# 1 令和4年度水道事業会計の決算概要

令和4年度決算では、**第2次水道ビジョン(経営計画)**に基づく計画値を上回る**当年度純利益を確保**できており、健全な経営状況を継続できました。

今後も経営計画に基づき、**施設の更新事業や災害対策事業などの設備投資を計画的に行い、令和9年度まで水道料金の10%還元を継続しながら純利益を安定的に確保**できるよう、より一層効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組みます。

## ①収益的収支(営業活動等に伴う収支) **当年度純利益 3億2,300万円**

【前年度比 +4,400万円】

【計画比 +4,300万円】

…全般的に費用が減となったことによるもの。

## ②資本的収支(設備投資等に伴う収支) **収支不足額 ▲13億2,000万円**

【前年度比 ▲6,200万円】

※不足額は積立金や留保資金等により補填

…経営計画に基づき、企業債の新規借入をしなかったため不足額は増加。

【計画比 ▲5,000万円】

…浄水場の耐震工事費等の支出が計画に比べ増となったことと、工事負担金等の収入が計画に比べ減になったことにより不足額は増加。



# 1 令和4年度水道事業会計の決算概要

## 業務量

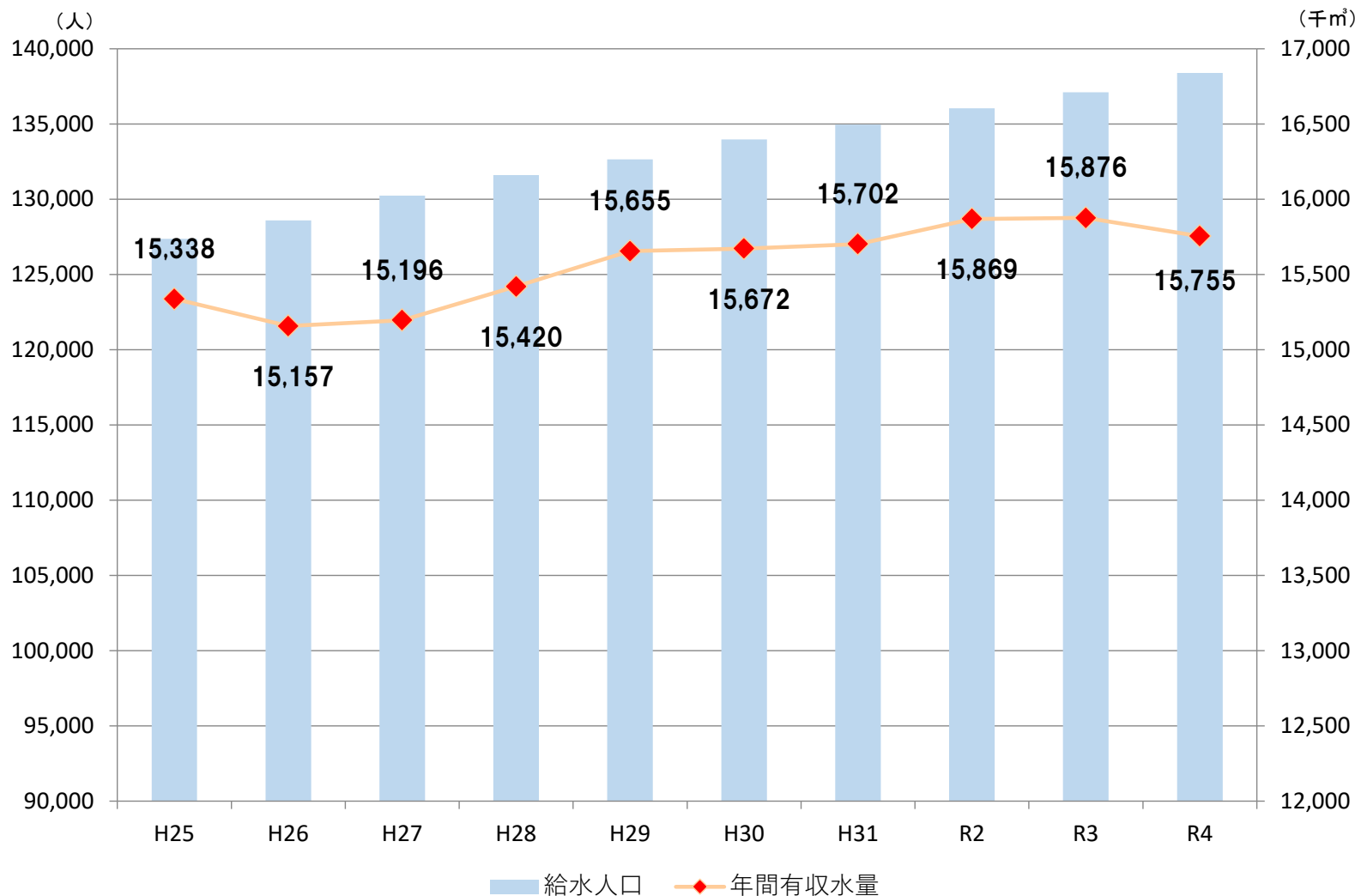
- ◆給水人口・件数は緩やかに増加
- ◆配水管の大規模漏水の影響により、配水量は増加したものの、コロナ禍による行動制限の緩和等に伴い、家庭用の水道使用量が減少したため、有収水量・有収率は減少。

区 分	単 位	令和4年度	令和3年度	比 較	
				増減	対前年度比
行政区域内人口	人	138,600	137,321	1,279	100.9
年度末給水人口	人	138,391	137,114	1,277	100.9
年度末給水件数	件	36,237	35,806	431	101.2
年間有収水量	m <sup>3</sup>	15,754,588	15,876,248	-121,660	99.2
年間配水量	m <sup>3</sup>	16,313,500	16,208,545	104,955	100.6
有収率	%	96.6	97.9	-1.3	98.7

# 1 令和4年度水道事業会計の決算概要



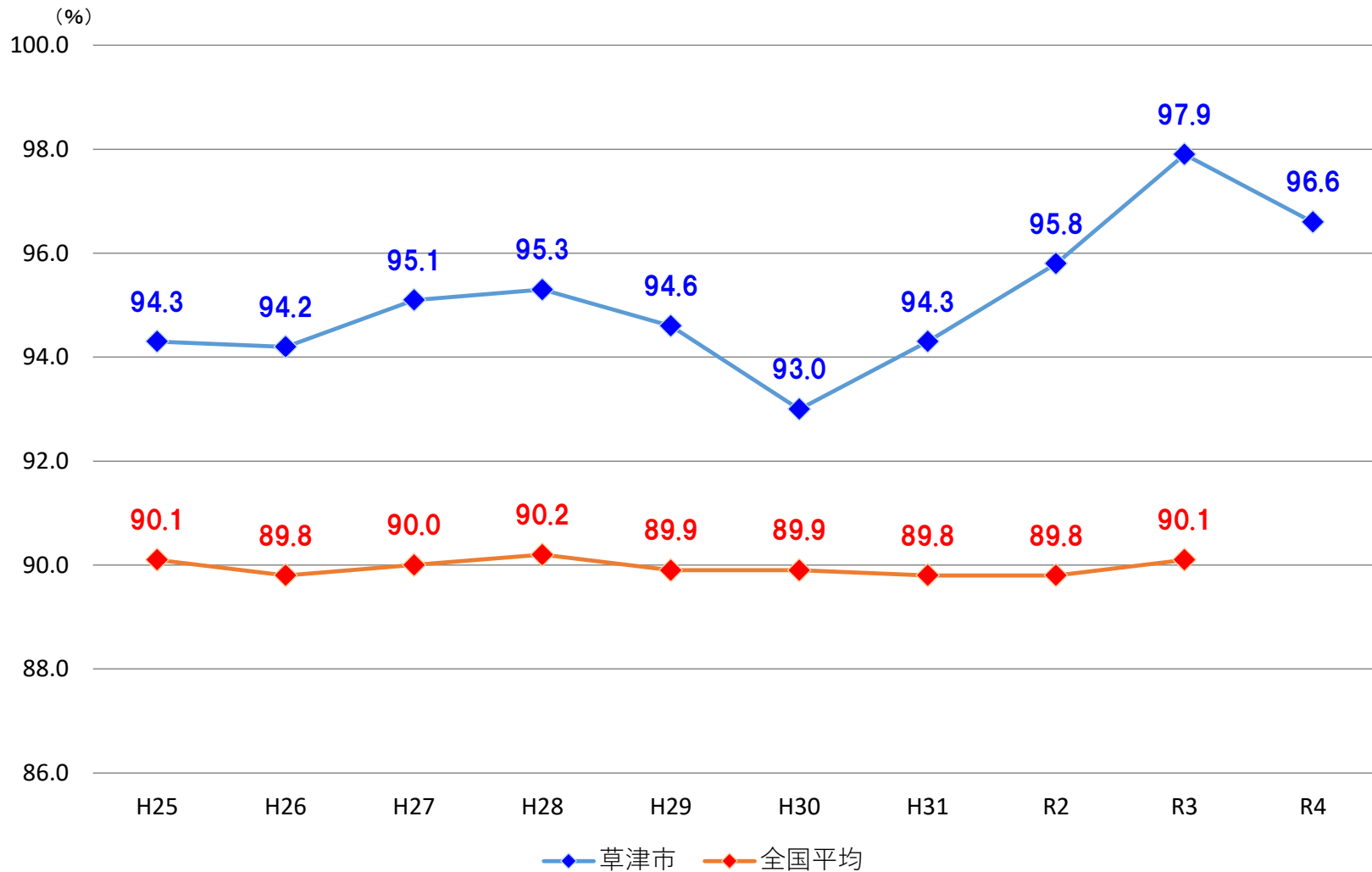
## 給水人口、有収水量の推移



# 1 令和4年度水道事業会計の決算概要



## 有収率の推移

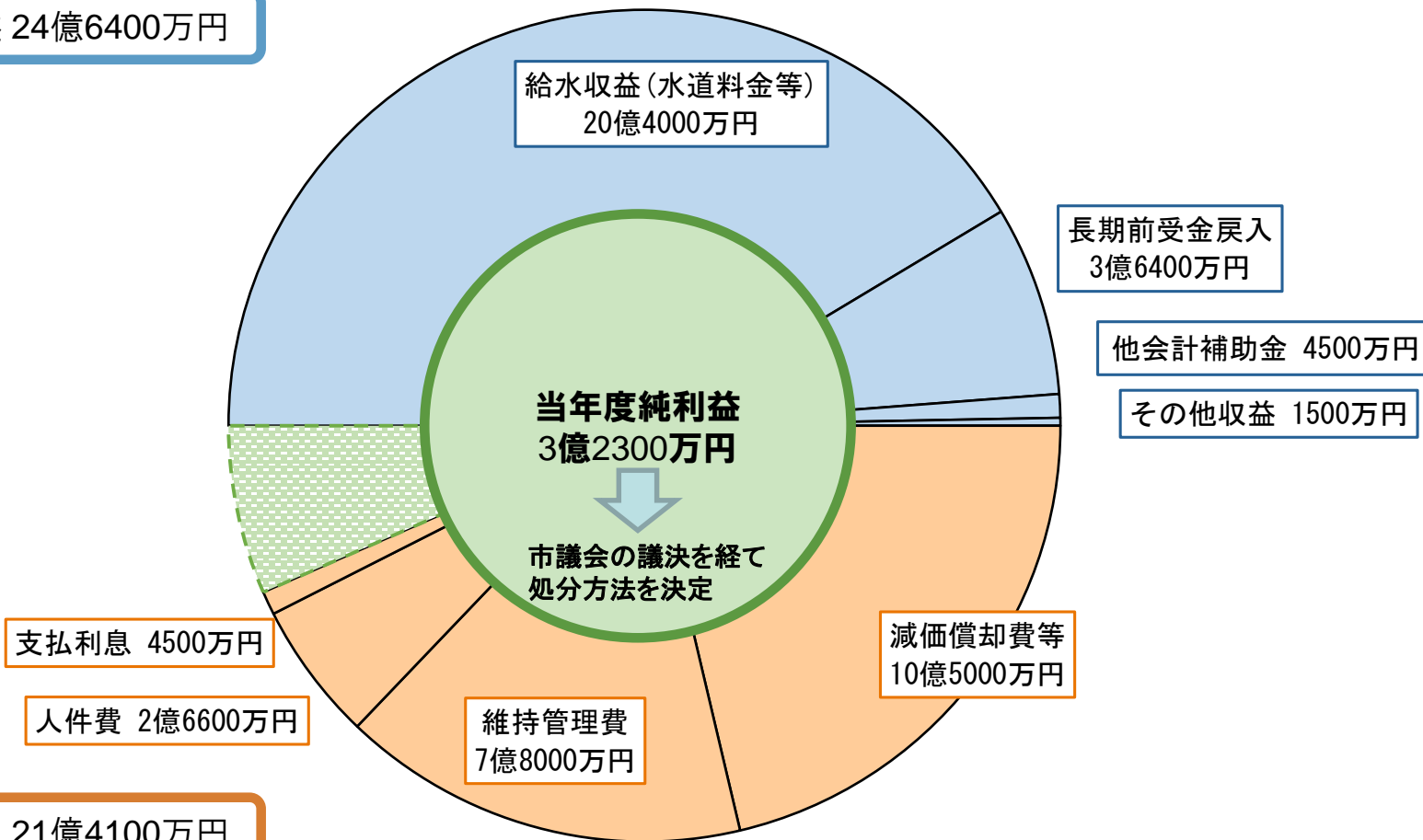




# 1 令和4年度水道事業会計の決算概要

## 収益的収支の内訳

総収益 24億6400万円



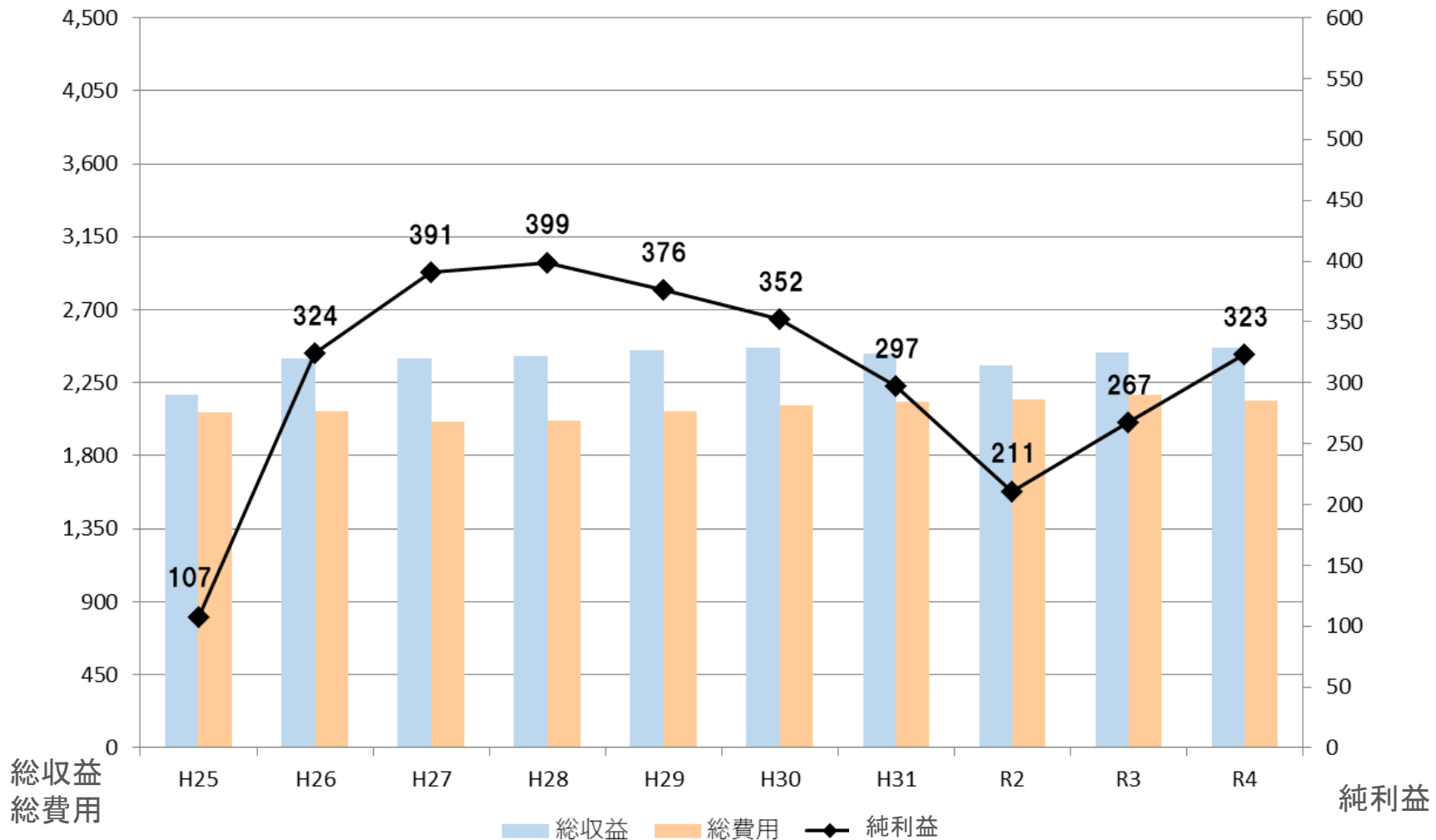
総費用 21億4100万円

# 1 令和4年度水道事業会計の決算概要



## 収益的収支の推移

単位：百万円







# 1 令和4年度水道事業会計の決算概要

## 資本的収支の内訳

総収入 2億1700万円

一般会計出資金  
8000万円

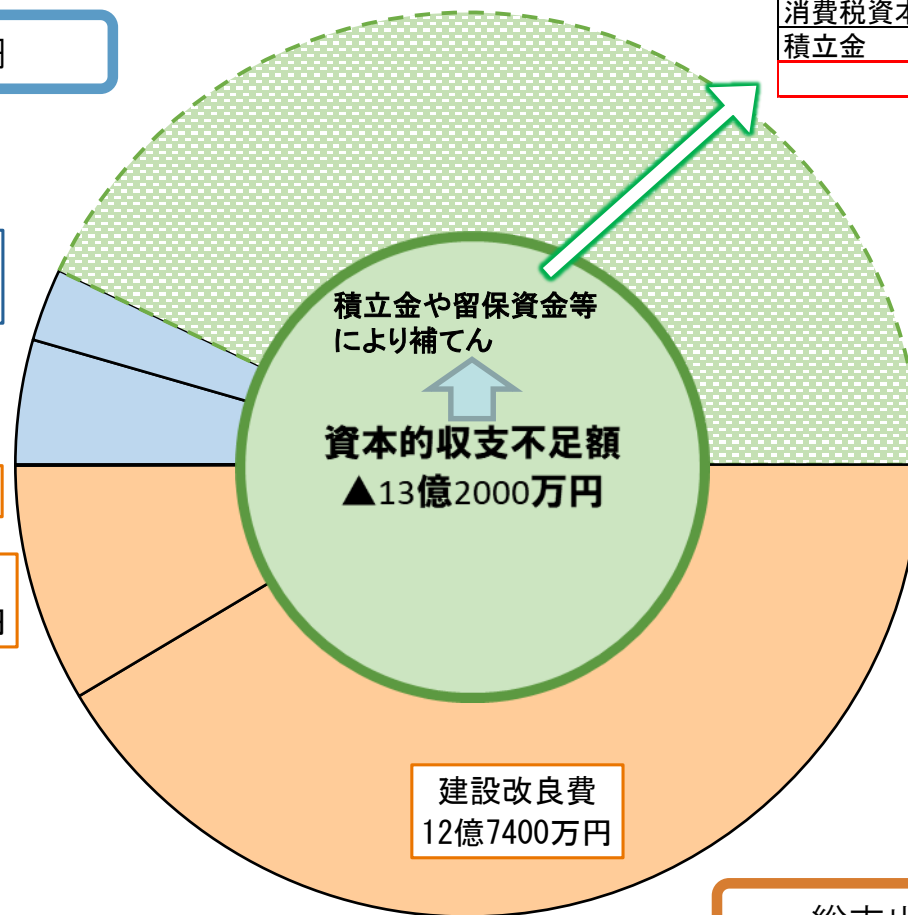
工事負担金  
1億3700万円

その他支出 100万円

企業債償還  
2億6200万円

建設改良費  
12億7400万円

総支出 15億3700万円



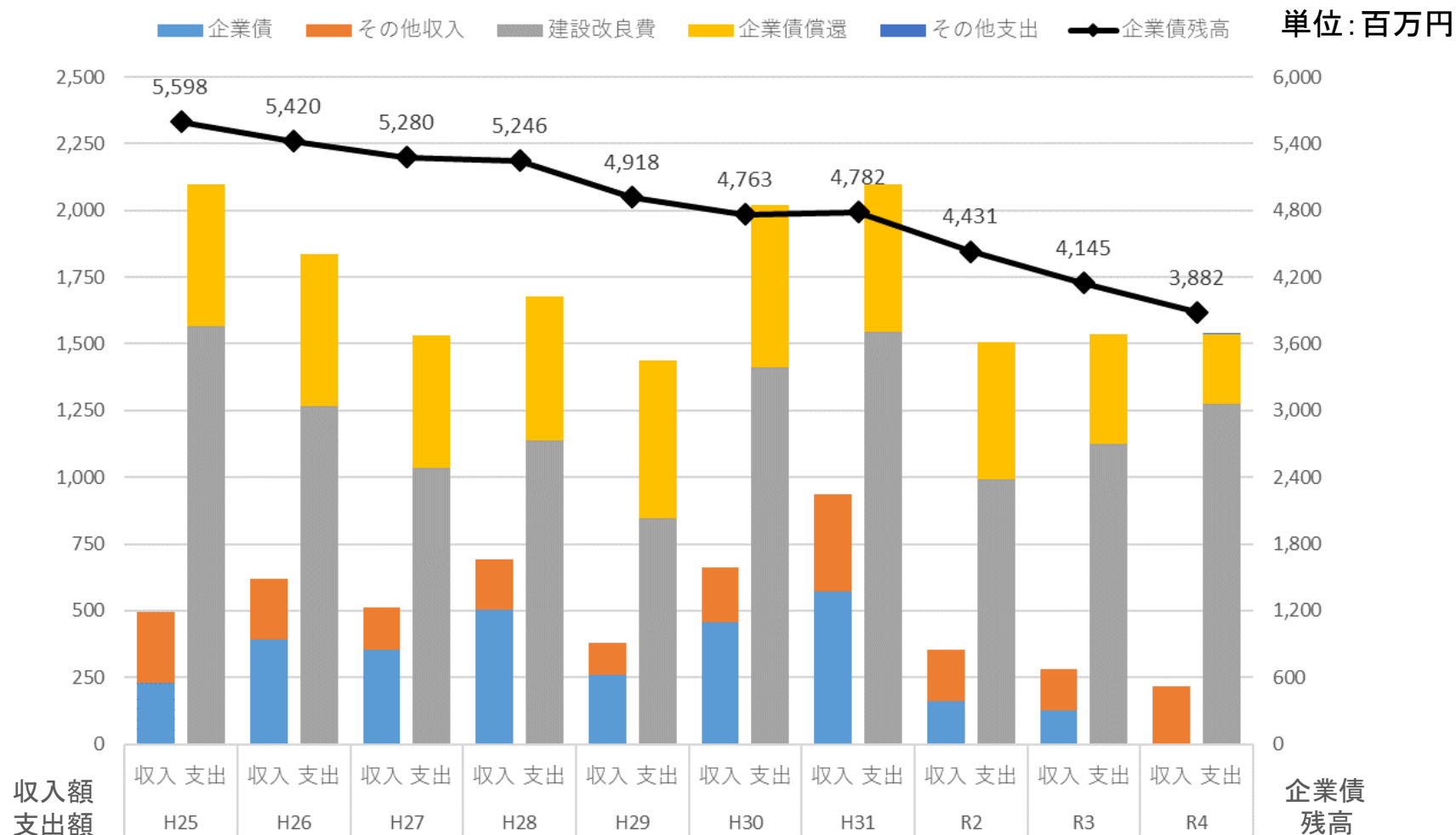
### (参考)補てん財源内訳

損益勘定留保資金	7億1,500万円
消費税資本的収支調整額	9,800万円
積立金	5億700万円
<b>計</b>	<b>13億2,000万円</b>



# 1 令和4年度水道事業会計の決算概要

## 資本的収支の推移





# 1 令和4年度水道事業会計の決算概要

## 貸借対照表 令和4年度末

固定資産 257億7600万円	固定負債 38億5500万円	負債の部 129億4900万円
	流動負債 7億6800万円	
繰延収益 83億2600万円		
流動資産 30億5600万円	資本金 133億3200万円	資本の部 158億8300万円
	資本剰余金 12億9400万円	
	利益剰余金 12億5700万円	

資産の部 288億3200万円

# 1 令和4年度水道事業会計の決算概要



## 主な財政指標の状況

財政指標	内容	単位	実績値			将来予測	
			R 2	R 3	R 4	R 9	R 1 5
供給単価	有収水量1m <sup>3</sup> あたりの料金収入	円/m <sup>3</sup>	115.2 (129.9)	129.4	<b>129.5</b>	133.4	148.2
			有収水量1m <sup>3</sup> あたりどれだけの料金収入があるかを示す。				
給水原価	有収水量1m <sup>3</sup> あたりの給水費用	円/m <sup>3</sup>	113.4	112.6	<b>112.7</b>	125.7	142.1
			有収水量1m <sup>3</sup> あたりどれだけの費用がかかっているかを示す。				
料金回収率	供給単価/給水原価	%	101.6 (114.6)	114.9	<b>114.9</b>	106.1	104.3
			供給単価の給水原価に対する割合。100%以上であれば、給水費用を料金収入で賄えている。				
企業債残高対給水収益比率	企業債残高/給水収益	%	242.4 (214.9)	201.8	<b>190.3</b>	234.8	211.1
			企業債(借金)の残高が年間給水収益に比べてどれだけの規模かを示す。				

※R2実績値の( )内の数値は、コロナ禍による基本料金減免分を除外した場合の数値

## 2 第2次水道ビジョンの目標と令和4年度の実績



### 第2次草津市水道ビジョン

令和4年3月策定

計画期間: 令和4年度～令和15年度

第2次草津市水道ビジョン 将来像

# ふるさと草津 未来へつなぐ 信頼の水

〔安全〕

く

暮らしを支える安全・安心な水を届けます

〔強靱〕

さ

災害に強い水道を築きます

〔持続〕

つ

つなぐ未来へ安定した事業を続けます

## 2 第2次水道ビジョンの目標と令和4年度の実績



### (1) 安全：暮らしを支える安全・安心な水を届けます

主要な施策	成果指標	単位	実績値			目標値		優位性
			R 2	R 3	R 4	R 9	R 1 5	
水質管理の強化	水質基準適合率	%	100	100	100	100	100	↑
	水道法による水質基準に適合した検体数の割合。							
水質管理の強化	異臭味の無い水達成率	%	100	97.6	100	100	100	↑
	カビ臭物質の数値が水質基準値の50%以内を達成した検体数の割合。							
水の安全・安定供給	配水区域再編成箇所数	箇所	-	-	-	2	2	↑
	配水区域再編により配水能力と区域内の水需要との均衡を図る。							
水の安全・安定供給	鉛製給水管率	%	3.7	3.3	3.1	2.7	0.0	↓
	鉛製給水管使用件数の割合。現在では鉛製給水管は使用しておらず、既存の鉛製給水管は配水管の更新工事等に併せて樹脂製の給水管に順次取り替えている。							

優位性： ↑ 高いほど望ましい / ↓ 低いほど望ましい

## 2 第2次水道ビジョンの目標と令和4年度の実績



### (2) 強靱：災害に強い水道を築きます

主要な施策	成果指標	単位	実績値			目標値		優位性
			R 2	R 3	R 4	R 9	R 1 5	
水道施設の計画的な更新	管路の更新率	%／年	0.5	0.6	<b>0.4</b>	1.0	1.0	↑
			更新した管路延長の総延長に対する割合。					
水道施設の災害対策の実施	基幹管路の耐震適合率	%	35.4	37.2	<b>37.5</b>	46.6	56.0	↑
			基幹管路のうち、耐震性ありと評価される管路延長の割合。					
	浄水施設の耐震化率	%	64.1	64.1	<b>64.1</b>	64.1	100	↑
			耐震対策済みの浄水施設能力の割合。					
	配水池の耐震化率	%	65.7	65.7	<b>65.7</b>	100	100	↑
耐震対策済みの配水池有効容量の割合。								
浄水施設の浸水対策箇所	箇所		0	1	<b>2</b>	6	7	↑
			全7箇所の浸水対策必要箇所のうち、対策実施済み箇所数。					

優位性： ↑ 高いほど望ましい / ↓ 低いほど望ましい

## 2 第2次水道ビジョンの目標と令和4年度の実績



### (2) 強靱：災害に強い水道を築きます

主要な施策	成果指標	単位	実績値			目標値		優位性
			R 2	R 3	R 4	R 9	R 1 5	
危機管理対応能力の強化	災害対策訓練実施回数	回／年	5	2	5	5	5	↑
		災害対策訓練の年間実施回数。						

優位性： ↑ 高いほど望ましい / ↓ 低いほど望ましい



## 2 第2次水道ビジョンの目標と令和4年度の実績



### (3) 持続：つなぐ未来へ安定した事業を続けます

主要な施策	成果指標	単位	実績値			目標値		優位性
			R 2	R 3	R 4	R 9	R 1 5	
技術力の強化	外部研修時間	時間/人	2.9	5.4	6.5	8.0	8.0	↑
			職員1人当たり1年間に外部研修を受けた時間数。					
財政基盤の強化	料金回収率 (※1)	%	101.6 (114.6)	114.9	114.9	100	100	100% 以上
			供給単価の給水原価に対する割合。100%以上であれば、給水費用を料金収入で賄えている。					
顧客ニーズの把握とサービス向上	「水の安定供給」に満足している市民の割合(※2)	%	47.1 (85.4)	45.8 (86.6)	45.3 (87.6)	48.5	49.7	↑
			市民意識調査にて「満足」「やや満足」と回答した市民の割合。					
環境に配慮した事業の推進	浄水発生土の有効利用率	%	100	100	100	100	100	↑
			浄水発生土量に対する有効利用土量の割合。					

(※1) R2実績値の( )内の数値は、コロナ禍による基本料金減免分を除外した場合の数値

(※2) ( )内の数値は、「ふつう」と回答した市民の割合を含んだ場合の数値

優位性: ↑ 高いほど望ましい /  
↓ 低いほど望ましい



### 3 令和4年度下水道事業会計の決算概要

令和4年度決算では、**第9期経営計画に基づく計画値を上回る当年度純利益を確保**できており、健全な経営状況を継続できました。

今後も経営計画に基づき、**施設の更新事業や災害対策事業などの設備投資を計画的に行いながら、純利益を安定的に確保し、独立採算による経営**ができるよう、より一層効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組みます。

#### ①収益的収支(営業活動等に伴う収支) **当年度純利益 1億5,700万円**

【前年度比 ▲4億2,200万円】

…一般会計(税金)からの繰入金の見直し等によるもの。

【計画比 +1億800万円(一般会計借入金を除く)】

…料金収入が計画値を上回ったことや、県の流域下水道に対する維持管理負担金の支出が計画値を下回ったこと等によるもの。

#### ②資本的収支(設備投資等に伴う収支) **収支不足額 ▲13億5,500万円**

【前年度比 ▲1億2,400万円】

※不足額は積立金や留保資金等により補填

…一般会計(税金)からの繰入金の見直し等により不足額は増加。

【計画比 +700万円】

…ほぼ計画通りの値となった。



### 3 令和4年度下水道事業会計の決算概要

#### 業務量

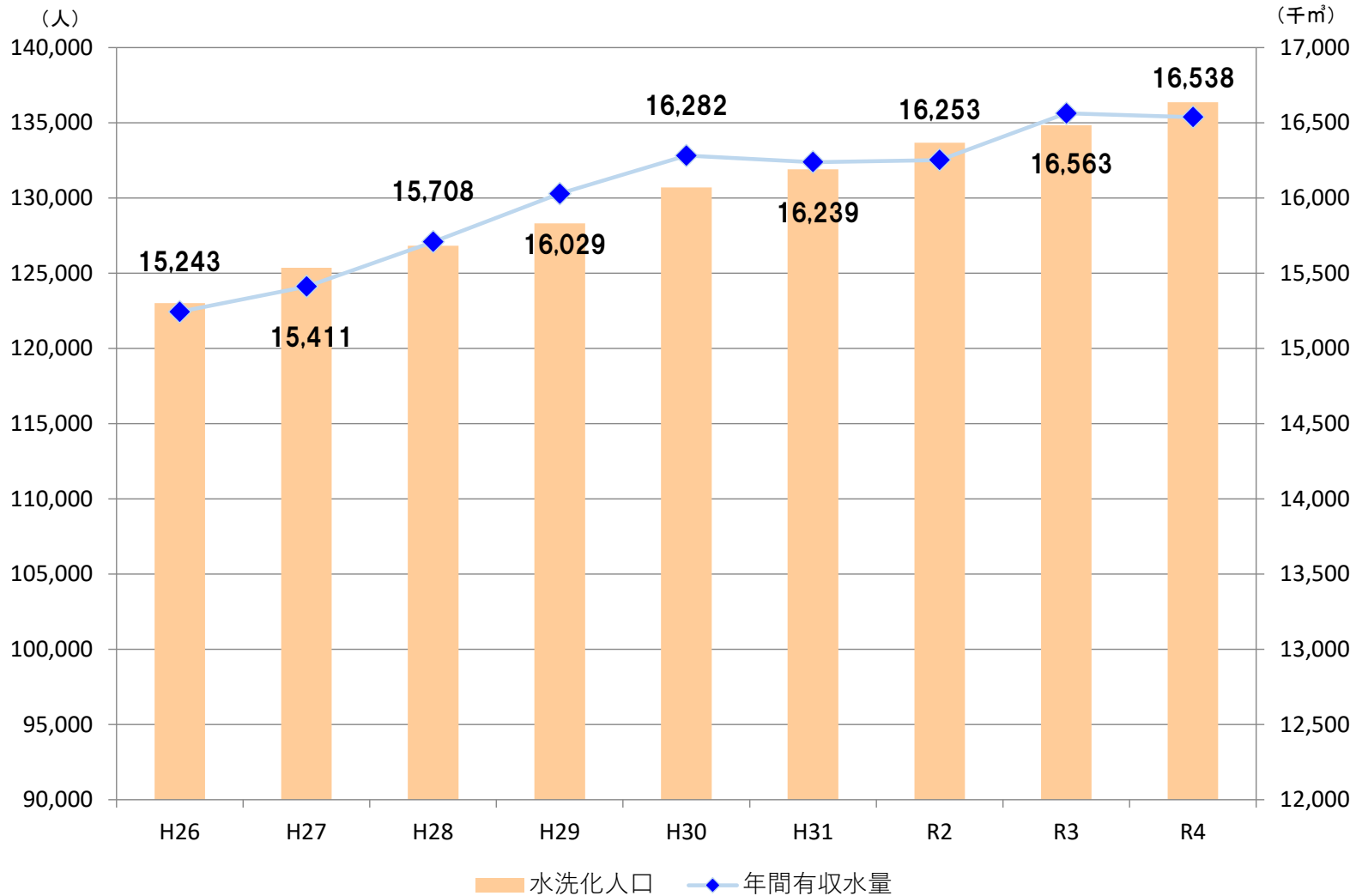
- ◆水洗化人口は緩やかに増加。有収水量はほぼ横ばい。
- ◆不明水量の減少により、処理水量は減少、有収率は増加。

区 分	単 位	令和4年度	令和3年度	比 較	
				増減	対前年度比
行政区域内人口	人	138,600	137,321	1,279	100.9
処理区域内人口	人	138,266	136,945	1,321	101.0
水洗化人口	人	136,369	134,838	1,531	101.1
年間有収水量	m <sup>3</sup>	16,537,528	16,563,283	-25,755	99.8
年間処理水量	m <sup>3</sup>	18,560,330	19,571,776	-1,011,446	94.8
有収率	%	89.1	84.6	4.5	105.3

### 3 令和4年度下水道事業会計の決算概要



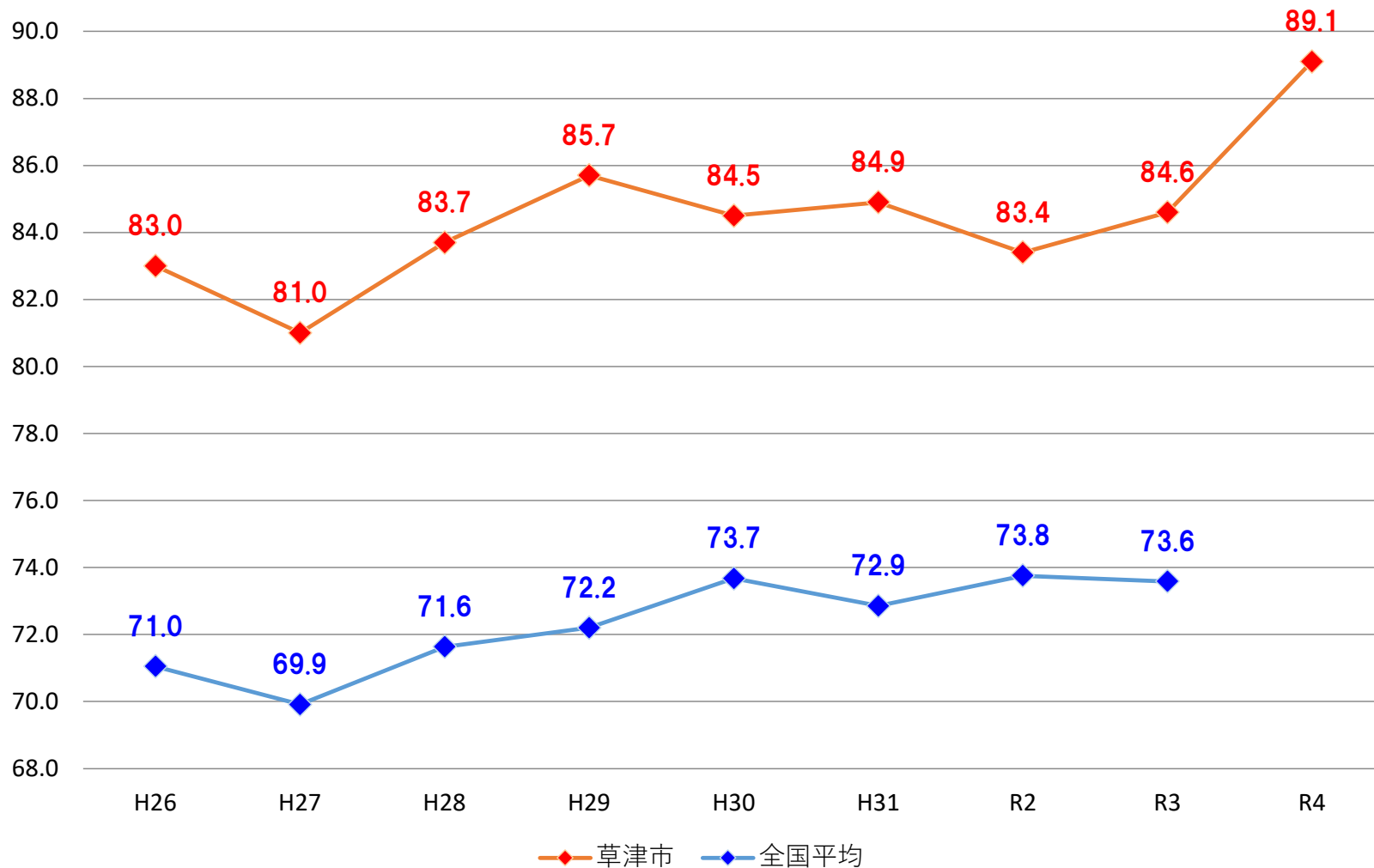
#### 水洗化人口、有収水量の推移



### 3 令和4年度下水道事業会計の決算概要



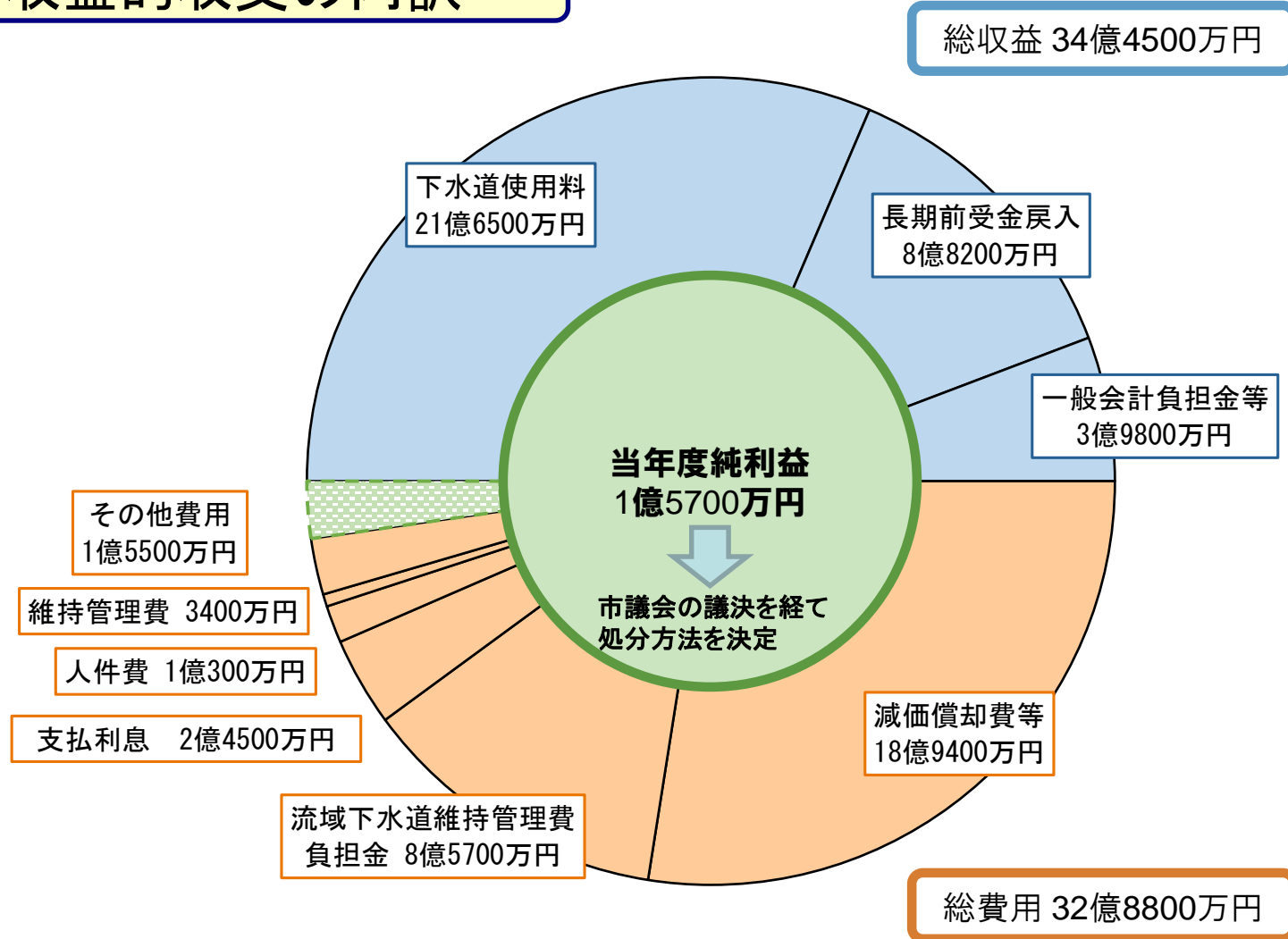
#### 有収率の推移





# 3 令和4年度下水道事業会計の決算概要

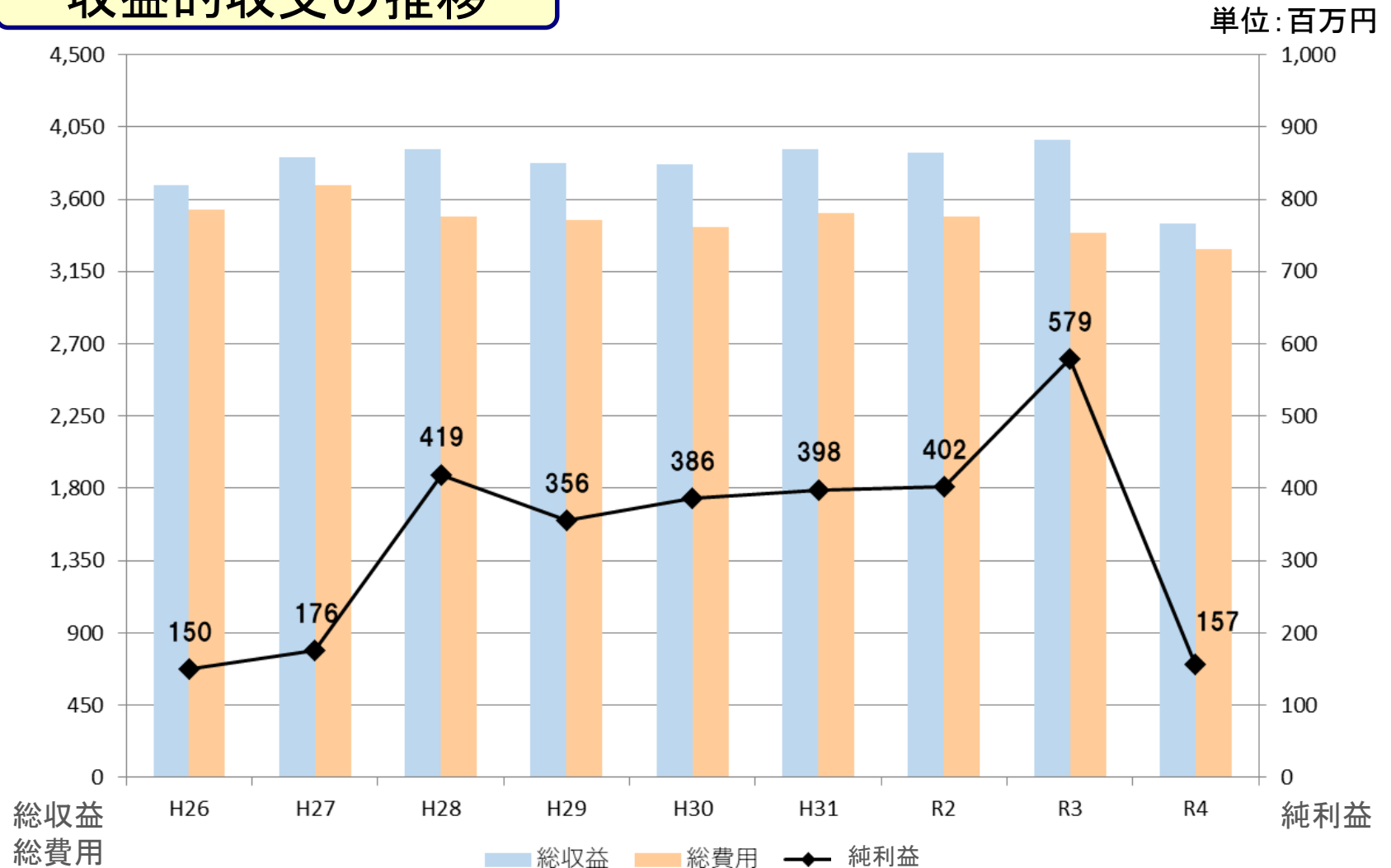
## 収益的収支の内訳



# 3 令和4年度下水道事業会計の決算概要



## 収益的収支の推移





# 3 令和4年度下水道事業会計の決算概要

## 資本的収支の内訳

総収入 7億8600万円

その他収入 1300万円

国県補助金 1億4500万円

企業債 2億6400万円

一般会計繰入金  
3億6400万円

建設改良費  
4億6400万円

企業債償還  
16億7700万円

総支出 21億4100万円

積立金や留保資金等  
により補てん  
資本的収支不足額  
▲13億5500万円

### (参考)補てん財源内訳

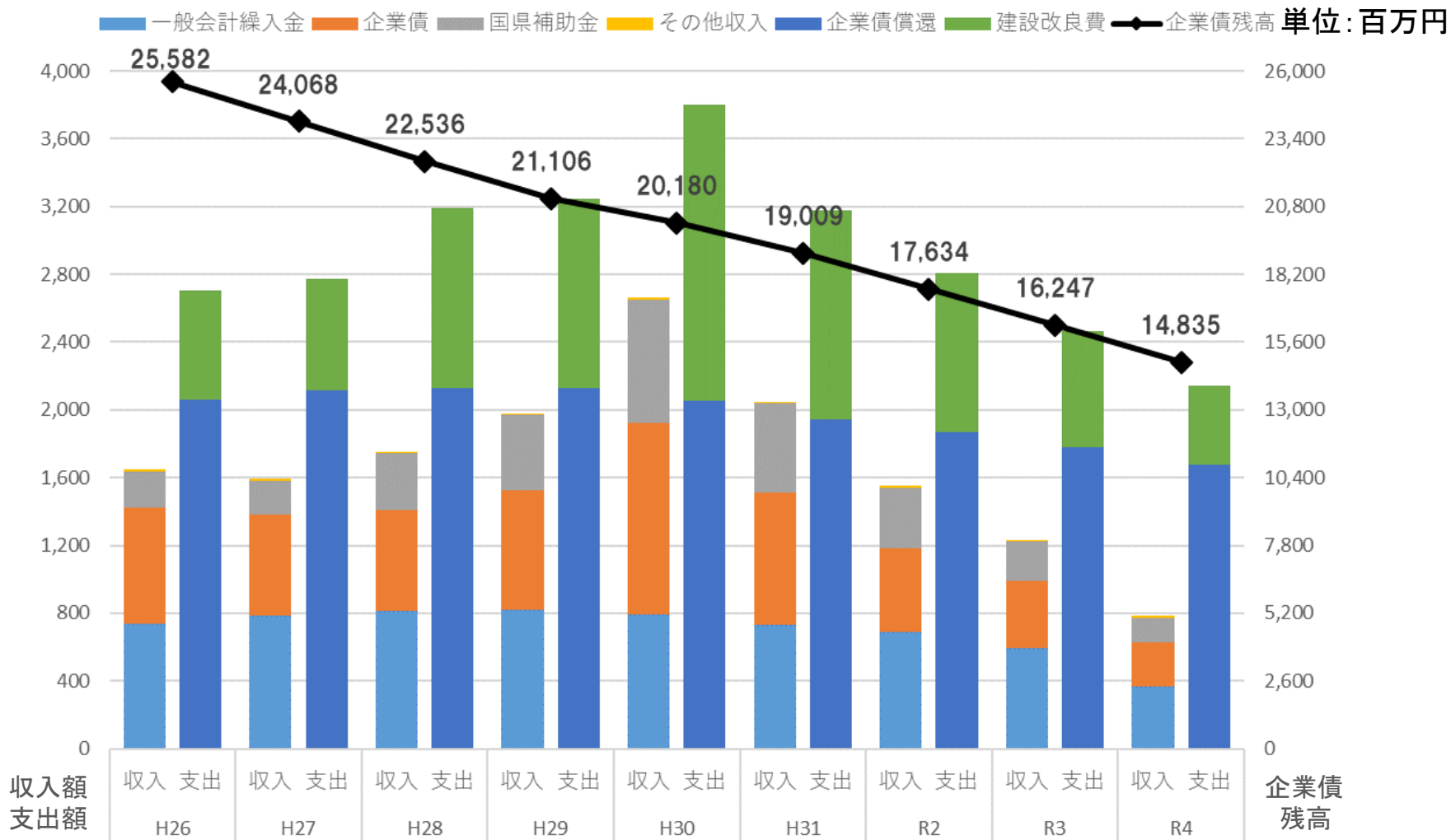
損益勘定留保資金	7億6,500万円
消費税資本的収支調整額	1,100万円
積立金	5億7,900万円
計	13億5,500万円



# 3 令和4年度下水道事業会計の決算概要



## 資本的収支の推移





### 3 令和4年度下水道事業会計の決算概要

#### 貸借対照表 令和4年度末

資産の部 550億2700万円	固定資産 531億7500万円	固定負債 147億6800万円	負債の部 425億6700万円	
		流動負債 20億6200万円		
		繰延収益 257億3700万円		
			資本金 112億8400万円	資本の部 124億6000万円
流動資産 18億5200万円		資本剰余金 4億4000万円		
		利益剰余金 7億3600万円		

# 3 令和4年度下水道事業会計の決算概要



## 主な財政指標の状況

財政指標	内容	単位	実績値			将来予測	
			R 2	R 3	R 4	R 9	R 1 5
使用料単価	有収水量1m <sup>3</sup> あたりの使用料収入	円/m <sup>3</sup>	114.1 (131.3)	130.2	<b>130.9</b>	132.1	132.1
			有収水量1m <sup>3</sup> あたりどれだけの使用料収入があるかを示す。				
汚水処理原価	有収水量1m <sup>3</sup> あたりの処理費用	円/m <sup>3</sup>	148.5	138.7	<b>133.7</b>	132.1	129.4
			有収水量1m <sup>3</sup> あたりどれだけの処理費用がかかっているかを示す。				
経費回収率	使用料単価/汚水処理原価	%	76.8 (89.6)	93.8	<b>97.9</b>	100.0	102.1
			使用料単価の汚水処理原価に対する割合。100%以上であれば、処理費用を使用料収入で賄えている。				
企業債残高対事業規模比率	企業債残高(一般会計負担予定額を除く)/下水道使用料	%	670.6 (575.2)	528.5	<b>480.0</b>	417.9	286.9
			企業債(借金)の残高が年間使用料収入に比べてどれだけの規模かを示す。				

※R2実績値の( )内の数値は、コロナ禍による基本料金減免分を除外した場合の数値



## 4 下水道事業第9期経営計画の目標と令和4年度の実績

### 目 標

令和4年3月策定

計画期間：令和4年度～令和15年度

#### 下水道施設の更新・ 災害対策の推進

- ①計画的な点検調査による  
改築更新の実施
- ②耐震対策の実施
- ③治水対策の実施  
(雨水幹線の整備)

#### 経営の健全化

- ①独立採算の実現
- ②水洗化率の向上
- ③顧客ニーズの把握と  
サービス向上
- ④不明水対策

下水道の安定運営

# 4 下水道事業第9期経営計画の目標と令和4年度の実績



## 行動計画における成果指標の状況

【目標1】

下水道施設の更新・災害対策の推進

行動計画	成果指標	単位	実績値			目標値		優位性
			R 2	R 3	R 4	R 9	R 1 5	
①計画的な点検調査 や改築更新の実施	高リスク管の点検 調査延長	km	21.0	23.8	<b>26.1</b>	48.5	74.9	↑
			下水道ストックマネジメント計画における高リスク管の点検調査延長。					
②耐震対策の実施	重要な幹線等の 耐震化率	%	60.3	62.4	<b>63.5</b>	69.0	77.4	↑
			災害時緊急輸送路等に埋設されている重要な幹線等の管路について、耐震性能を有している管路延長の割合。					
③治水対策の実施 (雨水幹線の整備)	雨水整備面積	ha	622.2	630.9	<b>633.9</b>	636.4	648.4	↑
			雨水幹線の整備が完了した区域の面積。					

優位性: ↑ 高いほど望ましい / ↓ 低いほど望ましい

# 4 下水道事業第9期経営計画の目標と令和4年度の実績



## 行動計画における成果指標の状況

### 【目標2】 経営の健全化

(※1) R2実績値の( )内の数値は、コロナ禍による基本料金減免に係る繰入を除外した場合の数値

(※2) ( )内の数値は、「ふつう」と回答した市民の割合を含んだ場合の数値

行動計画	成果指標	単位	実績値			目標値		優位性
			R 2	R 3	R 4	R 9	R 1 5	
①独立採算の実現	一般会計繰入総額に占める基準内繰入額の割合(※1)	%	59.3 (71.7)	79.0	<b>65.2</b>	71.2	100.0	↑
			総務省から通知されている基準内の繰入額の繰入総額に対する割合。					
②水洗化率の向上	水洗化率	%	98.4	98.5	<b>98.6</b>	98.9	99.6	↑
			下水道が既に整備された区域内の人口に対して、実際に下水道に接続している人口の割合。					
③顧客ニーズの把握とサービス向上	「下水道の安定運営」に満足している市民の割合(※2)	%	36.6 (82.7)	37.8 (84.7)	<b>38.8 (85.5)</b>	38.0	39.2	↑
			市民意識調査にて「満足」「やや満足」と回答した市民の割合。					

優位性: ↑ 高いほど望ましい / ↓ 低いほど望ましい

## 5 主な事業の内容(水道事業会計)



### 浄水場耐震補強・浸水対策事業

災害からライフラインを守るため、浄水場の耐震補強・浸水対策事業を進めています。

令和4年度は、北山田浄水場の配水池の耐震補強工事と、ロクハ浄水場新館の浸水対策工事を行いました。

令和5年度は、引き続き北山田浄水場の配水池の耐震補強工事を行うほか、ロクハ浄水場旧館等の浸水対策工事を行います。



ロクハ浄水場



北山田浄水場

#### ◆令和4年度決算額

北山田浄水場配水池耐震補強事業	2億9,407万円
ロクハ浄水場新館浸水対策事業	1,665万円

#### ◆令和5年度予算額

北山田浄水場配水池耐震補強事業	4億9,531万円
ロクハ浄水場旧館等浸水対策事業	3,289万円



## 5 主な事業の内容(水道事業会計)

### 管路更新事業

管路更新計画に基づき、中・大口径管や、医療・災害拠点にいたる重要な配水管を優先して更新を進めます。

毎年度計画的に、配水管の更新工事と、次年度以降の工事に向けた実施設計などを行っています。

◆令和4年度決算額	
配水管更新工事費	5億2,875万円
工事実施設計費	5,171万円

◆令和5年度予算額	
配水管更新工事費	5億1,082万円
工事実施設計費	408万円



管路更新工事の様子



# 5 主な事業の内容(下水道事業会計)



## 点検調査・改築更新事業

### ■管内TVカメラ調査



### ■管口点検



下水道ストックマネジメント計画に基づき施設の老朽化・地震リスクの大きさに応じて点検調査を実施のうえ、老朽化が見られる箇所については、計画的に更新事業を行っています。

令和4年度は点検調査のほか、マンホールポンプ施設の遠隔監視システムの更新、ならびに過去の点検調査で更新の必要性が判明した箇所の更新事業を行いました。

令和5年度も引き続き点検調査および施設の更新事業を実施します。

### ■管更生工事



施工前



施工後

#### ◆令和4年度決算額

下水道施設カメラ調査費	913万円
管更生工事費・実施設計費	3,630万円
ポンプ更新工事費・実施設計費	3,509万円
ポンプ遠隔監視システム更新費	3,958万円

#### ◆令和5年度予算額

下水道施設カメラ調査費	1,040万円
管更生工事費・実施設計費	7,475万円
ポンプ更新工事費・実施設計費	2,582万円

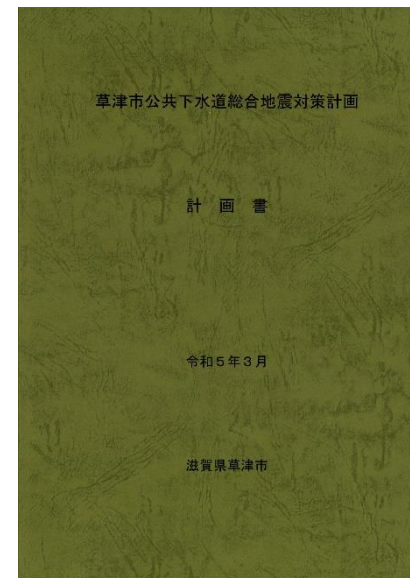


# 5 主要事業の内容(下水道事業会計)

## 総合地震対策事業

下水道総合地震対策計画に基づき、重要度・緊急度を考慮した緊急輸送路や復旧困難箇所から順次計画的に耐震化対策を実施しています。

令和4年度は、令和5年度から令和9年度までの計画策定を行いました。また、計画に基づく耐震化工事ならびに次年度以降の工事に向けた実施設計などを行いました。令和5年度も引き続き耐震化工事および実施設計を行います。



草津市公共下水道総合地震対策計画

◆令和4年度決算額	
下水道総合地震対策計画策定費	440万円
総合地震対策工事費	2,976万円
工事実施設計費	710万円

◆令和5年度予算額	
総合地震対策工事費	3,251万円
工事実施設計費	1,602万円



マンホールと下水道管接続部の耐震化施工状況



## 5 主要事業の内容(下水道事業会計)

### 不明水対策事業

平成27年度に実施した流量調査の結果、下水道への雨水等の浸入（不明水）が多く見られた箇所について、不明水の発生源を特定するための詳細調査を行っています。

令和4年度は、桜ヶ丘地区の詳細調査を実施しました。

令和5年度は、令和4年度に引き続き桜ヶ丘地区の調査を実施します。

◆令和4年度決算額  
桜ヶ丘四丁目不明水調査費 895万円

◆令和5年度予算額  
桜ヶ丘三丁目他不明水調査費 1,065万円



不明水調査状況

## 5 主な事業の内容(下水道事業会計)



### 雨水幹線整備事業

農地等の宅地化に伴う都市化の進展や集中豪雨による宅地への浸水リスク低減のために、県の一級河川整備事業と整合を図りながら、雨水幹線の整備を計画的に進めます。

令和4年度は雨水幹線整備工事のほか、用地買収等を行いました。令和5年度も工事、用地買収を進めるほか、次年度以降の工事に向けた実施設計等を行います。

#### ◆令和4年度決算額

雨水幹線整備工事費	8,756万円
用地費・移転補償費	1,208万円

#### ◆令和5年度予算額

雨水幹線整備工事費	2億2,187万円
工事実施設計費	1,995万円
用地費・移転補償費	959万円



雨水管渠埋設状況